

受賞団体の活動の概要

＜農林水産大臣賞＞ — 総合的に優れた取組 —

水辺と生き物を守る農家と市民の会（福井県 越前市）

環境保全型農業を推進し、アベサンショウウオなど希少野生生物が生息する自然環境の保全を通じ、人と生き物が共生できる里地里山づくりを、地域が一体となって実施。また「エコキャンプ」を通じて都市住民との交流を継続的に実施。



アベサンショウウオの産卵調査



谷津田ビオトープの設置

＜農村振興局長賞＞ — 農業・農村振興、地域づくりに向けた取組 —

八ツ面川朝日堰流域水路管理組合（山形県 遊佐町）

農業用排水路としての機能が希薄化し、施設の老朽化が進行していた水路を復元するため協議会を発足させ、その後水路の管理組合を設立。当該水路を地域の財産として、住民自らが責任を持って、施設を含めた流域一帯の自然環境を保全。



水路の維持管理作業



流域水路での自然観察会

＜自然環境局長賞＞ — 自然生態系の保全・再生に向けた取組 —

NPO 法人 グラウドワーク西鬼怒・フクロウ営巣ネットワーク ぐいそ（栃木県 宇都宮市）

田園・里地里山の生態系の頂点となるフクロウを保全するため、巣箱の設置や餌場となる田んぼ・用水路・里山などの自然環境を保全。また、フクロウの餌となるニホンアカガエル等の生息環境に配慮した減農薬栽培を推進。



フクロウの保全活動



フクロウの巣箱設置

＜子どもと生きもの賞＞ — 子供たちの環境教育への取組 —

新田プロジェクトE（兵庫県 豊岡市）

2004年10月の台風23号被災を機に、当時の小学生が地域の自然環境を見直し、保全活動を開始。災害を減らし防ぐための活動や、コウノトリ育む農法の学習と米づくりの実践を通して、農業・環境・食料・生き物等の情報を地域へ発信し、地域の環境づくりを子どもたちが主導。



コウノトリ育む農法を実践



子どもたちによる水田魚道設置

＜パートナーシップ賞＞ — 多様な主体が連携した取組 —

ひろさき環境パートナーシップ21（青森県 弘前市）

ハッチョウトンボなどの希少生物が生息する農村環境の再生を目指し、市民、農業者、市、地域の小中学生などが協働して、休耕田をビオトープ「弘前だんぶり（とんぼ）池」に整備し、生態系を保全する取組を実施。



休耕田を整備したビオトープ



地元中学生によるビオトープづくり

＜オーライ！ニッポン賞＞ — 都市と農村の共生・対流によって実施している取組 —

ヒョウモンモドキ保護の会（広島県 三原市、東広島市、世羅町、北広島町）

都市住民と地域住民がヒョウモンモドキの保護活動を通して交流。ヒョウモンモドキの保護活動を軸に、地域の多様な生物を保全するため、環境教育活動、地域住民の交流促進、自然に配慮した地域づくりに貢献。また、環境保全型農業の推進や、食農教育も実践。



ノアザミにとまるヒョウモンモドキ



ヒョウモンモドキの観察会

＜朝日新聞社賞＞ — 活動内容が幅広く、社会的貢献度が高い取組 —

しらおう
白王里山再生プロジェクト（滋賀県 近江八幡市）

イノシシによる農作物への被害を防止する先進的な取組を実施。耕作放棄田と放棄里山林を伐採して、農地と里山の間に緩衝地帯を設置し、隠れ家をなくすとともに、和牛の放牧で雑草管理を実施。また、伐採材を木質バイオマスとして有効活用し、農地・里山の自然を再生。



近江牛の放牧による雑草管理



放置された里山の伐採作業

＜谷津田で青春賞＞ — 若い力で放棄された谷津田を再生・保全する取組 —

もばらしょうよう
千葉県立茂原樟陽高等学校 農業土木部（千葉県 一宮町）

地域の農村環境を守るため、明るい里山づくりを目指す地権者らと連携し、高校生が30年以上放棄された谷津田を再生・保全。生き物の生息場所の復元を念頭に、昔ながらの方法により、谷津田・農道・水路・ため池等を復元・創出し、地域ぐるみで米づくり、生きもの調査等を実施。

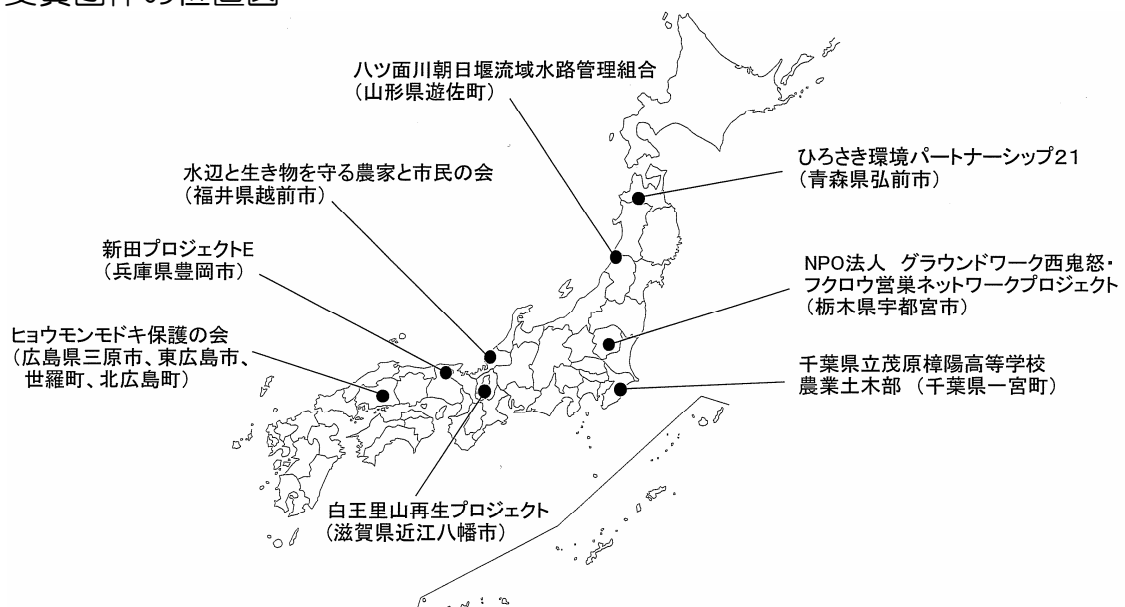


放棄田の復元作業



復田した谷津田で小学生との交流

○ 受賞団体の位置図



※前年度までの受賞団体等の情報は（社）農村環境整備センターまで。

URL : <http://www.acres.or.jp>